

# 外国人生活者のための基本カタカナ語彙について

平田史織<sup>1</sup>・山下直子<sup>2</sup>

## <要旨>

本研究では、外国人生活者のためのカタカナ語学習教材の開発の第一段階として、生活に必要なカタカナ語129語を選定した。語の選定にあたり、地域日本語教室等で使用されている日本語教科書と、外国人生活者が生活の中で目にする物の画像等からカタカナ語を抽出した。それらのカタカナ語を分析したところ、約8割の語が、旧日本語能力試験2級、1級、級外に相当する難易度の高い語であることが明らかになった。さらに、それらのカタカナ語のBCCWJコーパスにおける出現頻度を調査したところ、社会で高頻度使用されているカタカナ語にも、日本語学習者にとっては難易度の高いものが含まれていることが明らかになった。

キーワード：カタカナ語、外来語、外国人生活者、地域日本語教育

## 1. はじめに

日本における在留外国人数は増加の一途をたどっている。2019年（令和元年）6月末現在での在留外国人数は2829,416人となっている（法務省2019）。中でも、近年、就労や結婚等で来日し、数年から数十年の長期に渡って日本で生活する外国人が増加している。このような日本で生活する外国人（以下、外国人生活者とする。）が円滑な社会生活を送るためには、日本語能力を身につけることが必要である。ここでいう日本語能力とは、日本語を「聞く」、「話す」能力だけではない。日本社会では、重要な情報は、ひらがな・カタカナ・漢字を使った書きことばで提供される。したがって、日本で生活するためには、日本語を「読む」能力を身につけることも必要であるといえる。

平田（2019）は、外国人生活者向けの漢字の教科書の中から、生活の中で接触しやすいと思われる漢字100字を選定した。その結果、日本語能力試験N5、N4レベルに相当する初級の漢字が全体の72%を占めた。このように、生活で接触しやすい漢字と、日本語学習者にとっての初級の漢字は同じではないものの、初級の漢字を学習すれば、生活に必要な漢字の7割程度は読めるようになる可能性があるとして述べている。

それでは、カタカナ語についてはどうだろうか。金（2012）は、20世紀後半より、日本語においてカタカナ語の基本語化が起きていると指摘している。そのため、日本語を「読む」ためには、漢字だけでなくカタカナ語についても正しく理解する必要があるといえる。しかし、漢字に比べる

---

1 香川大学大学院教育学研究科修士

2 香川大学教育学部

と、カタカナ語を学習するための教材は少ない。日本語能力試験に出題されるカタカナ語をまとめた学習参考書は存在するものの、日本で生活するためにどのようなカタカナ語を優先的に学習したほうがよいのかという指針では作られていない。また、扱われているカタカナ語が数百語と非常に多く、学習者にとって負担が大きいと考えられる。そこで、本研究では、地域日本語教室等での支援のため、生活に必要なカタカナ語教材の開発を最終目標とし、その第一段階として、外国人生活者が接触しやすいカタカナ語の実態を調査する。

## 2. 先行研究

日本語教科書に出現するカタカナ語の研究では、稲垣(1991)が、19冊の初級の日本語教科書から外来語を取り出し、どのような意味分野の語であるかによって語の分類を行っている。その結果、生産物を中心とした「モノ」を表す語(「ガス」, 「ガラス」, 「ストーブ」, 「ボタン」, 「マッチ」等)が多いことを明らかにした。また、多くの教科書に共通する外来語が少ないことも指摘した。工藤(2001)は、初級、中級、上級の計6冊の教科書に出現する外来語を分析した。その結果、上級の教科書には外来語の出現語数が多く、さらに、生活上・学習上必要とされる「基本外来語」の占める割合が、上級の教科書では低くなることを明らかにした。また、全ての教科書において、日常会話で耳にする機会の多い外来語系ナ形容詞(「スマートな」, 「スムーズな」等)がほとんどみられないことを指摘した。

押尾・秋元・武田・阿部・高梨・柳澤・岩元・石毛(2008)は、日本語能力試験の改定に際し、出題語彙の選定方法を述べている。外来語の選定方法については、「辞書の見出し語として載っているか、国立国語研究所の外来語調査の対象項目として挙げられているか、現行語彙表に記載されているかどうかで出現度を集計し、判断の手掛かりとした。(75)」としている。

外国人生活者が接触するカタカナ語の研究では、今西(2008)が、来日直後の留学生が読む「生活の手引き」1種類の使用語彙を、日本語能力試験の出題基準と比較している。その結果、語彙の75%以上が、級外、1級、2級に該当する難易度の高い語であった。この中には、カタカナ語も当然含まれている。さらに、今西(2010)は、外国人生活者を対象とした「生活の手引き」4種類の使用語彙を調査した。その結果、日本語能力試験2級語彙の割合が32.4%と最も高く、級外、1級、2級も合わせると56%となった。石井・鈴木・野村(2015)は、文化庁「『生活者としての外国人』のための日本語教育事業」の一環として、地域日本語教室で使用するためのカタカナ語の教科書『生活カタカナ』を作成した。この教科書には、「食べ物」, 「街」, 「公共サービス」等の場面ごとに使われる語がまとめられ、計413語のカタカナ語が選定されている。弘前大学人文学部社会言語学研究室(2017)は、災害時に頻繁に使用されるカタカナ語31語の難易度を調査した。その結果、31語中10語が、初級の日本語学習者にとって理解度50%以下の語であった(「コンクリート」, 「テント」, 「ナプキン」等)。

## 3. 本研究の目的

先行研究より、外国人生活者が接触しやすいカタカナ語の数は少なくないことがわかる。さらに、生活に必要なカタカナ語は、教科書に出現するカタカナ語よりも難易度の高いものが多いことがうかがえる。しかし、外国人生活者が日本で生活するために、どのようなカタカナ語を学習したほうがよいのかという適切な語の選定はなされていない。そのため、本研究では、地域日本語教室等で参考にできるよう、生活に必要なカタカナ語の選定を検討する。先行研究で触れた石井・鈴木・野村(2015)の教材は、生活場面に即したカタカナ語が選定されており、外国人生活者のカタカナ語学習にとって意義のあるものである。しかし、語の選定理由が明確にされていないほか、扱われ

ているカタカナ語が413語と多く、学習の優先順位も不明である。そこで、本研究では、生活に必要なカタカナ語の教材の開発を最終目標に、その第一段階として、生活に必要なカタカナ語の選定を行うことを目的とする。

## 4. 研究方法

### 4-1 生活に必要なカタカナ語の選定

まず、多くの地域日本語教室等で使用されている『みんなの日本語初級Ⅰ』（スリーエーネットワーク2012）、『みんなの日本語初級Ⅱ』（スリーエーネットワーク2013）、『日本語おしゃべりのたね』（澤田・武田・福家・三輪2011）、『日本語読み書きのたね』（澤田・武田・福家・三輪2015）の4冊の日本語教科書から、それぞれカタカナ語を抽出した。それらの語を分析し、全ての教科書に共通して出現するカタカナ語は学習者の接触頻度が高いと考えられることから、本研究における選定語彙とした。

次に、外国人生活者が実際の生活の中で目にするカタカナ語をさらに抽出するため、外国人生活者向けの教科書『新にほんご「生活の漢字」漢字み～つけた』（「生活の漢字」をかんがえる会2011）に掲載されている写真等を参考とした。この教科書は、本来、日常生活で目にする漢字を学習するために作られたものである。しかし、日常生活で目にすることの多い看板・表示等の写真が掲載されているため、この教科書からカタカナ語を抽出することにより、日常生活で頻繁に接触するカタカナ語を選定することができると考えた。また、同じ外国人生活者向けの漢字教科書『生活漢字306英語・タガログ語版』（町屋日本語教室1997）、『ハンゲルを使う人のための生活漢字』（国際ボランティアセンター山形2001）、『漢字だいじょうぶ！生活の中で学ぶ漢字のツボ』（トヤマ・ヤボニカ2013）も参照し、他に生活上必要と思われるカタカナ語があれば追加した。

### 4-2 生活に必要なカタカナ語の分析

本研究で選定したカタカナ語を、旧日本語能力試験出題基準（国際交流基金・日本国際教育支援協会2002）<sup>1</sup>と照合し、各語の難易度を調査した。さらに、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』（BCCWJ）を使用し、日本社会において、選定したカタカナ語がどのくらいの頻度で使用されているかについても調査した。

## 5. 結果と考察

### 5-1 生活に必要なカタカナ語の選定

#### 5-1-1 日本語教科書に共通するカタカナ語

地域日本語教室等で日本語学習者に広く使用されている教科書よりカタカナ語を抽出した語数を表1に示す。『みんなの日本語初級Ⅰ』と『みんなの日本語初級Ⅱ』では合わせて277語、『日本語おしゃべりのたね』は208語、『日本語読み書きのたね』は189語であった。

<sup>1</sup> 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』（BCCWJ）は、国立国語研究所が中心となって開発した現代日本語の書き言葉のコーパスである。

表1 日本語教科書のカタカナ語の語数

『みんなの日本語初級 I, II』(合計)	『日本語おしゃべりのたね』	『日本語読み書きのたね』
277	208	189

次に、各教科書から抽出したカタカナ語の品詞を分析した。品詞の内訳は、表2のとおりであった。調査の結果、『みんなの日本語初級 I, II』269語(97.11%)、『日本語おしゃべりのたね』204語(98.08%)、『日本語読み書きのたね』178語(94.18%)といずれの教科書も名詞が9割を超えている。しかし、日常生活では、名詞だけでなく、カタカナ語のサ変動詞(「キャンセルする」, 「チェックする」等)を使用することも多い。工藤(2001)も、日常生活で外来語系ナ形容詞(「スマートな」, 「スムーズな」等)をよく耳にするが、教科書ではほとんど取り上げられていない旨を指摘している。なお、出現したカタカナ語のうち、動詞および形用動詞の一覧を、表3に示す。

表2 日本語教科書のカタカナ語の品詞

	『みんなの日本語初級 I, II』	『日本語おしゃべりのたね』	『日本語読み書きのたね』
名詞	269	204	178
動詞	7	3	8
形容動詞	1	1	3
計	277	208	189

表3 日本語教科書のカタカナ語の動詞・形容動詞一覧

『みんなの日本語初級 I, II』	【動詞】キャンセルする, クリックする, コピーする, セットする, チャレンジする, メモする, リサイクルする(7語) 【形容動詞】ハンサムな(1語)
『日本語おしゃべりのたね』	【動詞】チェックする, メモする, リサイクルする(3語) 【形容動詞】ショックな(1語)
『日本語読み書きのたね』	【動詞】オープンする, カットする, クリックする, コミュニケーションする, チェックする, フォローする, ホームステイする, リフレッシュする(8語) 【形容動詞】ショックな, スムーズな, ラッキーな(3語)

次に、各教科書に出現したカタカナ語を比較し、共通する語がどのくらい存在するのかを調査した。地域・国名等の固有名詞(「アジア」, 「アメリカ」, 「オーストラリア」等)を除外した結果、全ての教科書に出現するカタカナ語は35語であった。35語の一覧を、50音順に表4に示す。

表4 日本語教科書に共通して出現するカタカナ語

アニメ, アパート, アルバイト, イベント, インターネット, カラオケ <sup>2</sup> , カレー, コンビニ, サービス, サイズ, サッカー, サンドイッチ, シャワー, ジュース, スーパー, ストレス, スピーチ, スポーツ, タクシー, ダンス, デザイン, デパート, テレビ, トイレ, ノート, パーティー, バス, パン, ビール, ピザ, ペット, ボール, ボランティア, メール, レストラン
---

<sup>2</sup> 「カラオケ」は、和語(「カラ」)と外来語(「オケ」)の混種語であり日本で生まれた語であるが、通常はカタカナで表記されるため、本研究ではカタカナ語に含めた。

表4をみると、いずれの語も日常生活でよく使用されるカタカナ語であることがわかる。しかし、これらの語の中には、日本で健康で安全な生活をするために最低限必要な語が全て含まれているとはいえない。例えば、最近「病院」のかわりに使用されることが多くなってきた「クリニック」や、病院や薬局で使用される「アトピー」、「アレルギー」等の語がそうである。温水洗浄トイレで目にする「ノズル」、「ビデ」等の語も、日本で生活する人であれば知っておいたほうがよい。また、略称である「コンビニ」は日本語教科書に出現するが、正式名称の「コンビニエンスストア」は扱われていない。しかし、公共料金の払込票等では、「コンビニエンスストア」という正式名称での記載をよく目にする。これらのことから、地域日本語教室等で日本語を学習している外国人生活者には、日本語教科書のカタカナ語にさらに語を追加し、生活に必要なカタカナ語を教える必要があると考えられる。

なお、各日本語教科書には189～277語のカタカナ語が出現しているにもかかわらず、全ての教科書に共通する語が35語(12.64～18.52%)しか存在しないということは、各教科書におけるカタカナ語の選定基準がばらばらであることも示している。そのため、本研究において、生活に必要なカタカナ語を選定することは意義があるといえよう。また、35語という語数は明らかに少なく、これだけで生活に必要なカタカナ語を網羅しているとはいえない。そこで、次項では、カタカナ語をさらに抽出し、生活に必要なカタカナ語を選定する。

### 5-1-2 語の選定

生活に関連するカタカナ語をさらに抽出するため、『新にほんご「生活の漢字」漢字み～つけた』（「生活の漢字」をかんがえる会2011）に出現するカタカナ語を本文および画像から抽出したところ、153語であった。さらに、『生活漢字306英語・タガログ語版』（町屋日本語教室1997）、『ハングルを使う人のための生活漢字』（国際ボランティアセンター山形2001）、『漢字だいじょうぶ！生活の中で学ぶ漢字のツボ』（トヤマ・ヤポニカ2013）のカタカナ語を追加した。その中から、まず、専門的な薬の成分等の語（「アセチルサリチル酸」、「アセトアミノフェン」、「エタノール」等）や、特定メーカーの製品に使用されており一般的とはいえない語（「アルカリイオン水」、「ダイヤモンド釜」、「チーム・マイナス6%」等）、さらに、現代社会であまり使われなくなったと考えられる語（「ダイヤル」、「チャンネル」等）を分析対象外とした。なお、別の語であるがカタカナの形態素が同じものについては、同じ語とみなすことにした。（「ガス会社」、「ガス代」、「ガス料金」は、全て「ガス」とする。）その結果、抽出したカタカナ語は、計110語であった。

次に、この110語と、前項で日本語教科書から抽出したカタカナ語35語を合わせ、重複する16語を削除したところ、計129語であった。そこで、本研究では、この129語を生活に必要なカタカナ語として選定することにした。129語の一覧を50音順に表5に示す。

なお、『生活者としての外国人』に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案について』（文化庁2010）には、扱われるべき項目として、「健康・安全に暮らす」、「住居を確保・維持する」、「消費活動を行う」、「目的地に移動する」、「人とかかわる」、「社会の一員となる」、「自身を豊かにする」、「情報を収集・発信する」が挙げられている（文化庁2010:12-13）。本研究で選定したカタカナ語をみると、この項目が網羅されており、妥当な語の選定であると考えられることができる。

## 5-2 生活に必要なカタカナ語の分析

### 5-2-1 難易度

本研究で選定したカタカナ語129語を旧日本語能力試験出題基準と照合したところ、各級の難易度に相当するカタカナ語の語数と割合は、表6のとおりであった。

調査の結果、選定したカタカナ語の79.07%が、旧日本語能力試験2級、1級、級外に相当する難易度の高い語であった。特に、級外の語が46.51%と最多であった。このことから、日本語能力試験のための学習だけでは、生活に必要なカタカナ語の約半数の語しか習得できない可能性が明らかになった。

表5 本研究で選定した生活に必要なカタカナ語

【あ】アイス、アップ、アドバイス、アトビー、アナウンス、アニメ、アパート、アルバイト、アルミ、アレルギー
【い】イベント、インターネット
【え】エコ
【お】オープン、オリンピック
【か】カード、ガイダンス、カウンター、ガス、カプセル、カラオケ、カレー、カレンダー
【き】キー、キャッシュカード
【く】グリーン車、クリニック、グリル、クレジットカード
【こ】コース、コード(ひも)、コーナー、コーヒー、ゴールデンウィーク、コンビニ、コンビニエンスストア
【さ】サービス、サイズ、サイン、サッカー、サンドイッチ
【し】シーズン、シート(座席)、ジャム、シャワー、シャンプー、ジュース、シロップ
【す】スーパー、スケジュール、スタート、スチーム、ステージ、ストレス、スピーチ、スポーツ、スロープ
【せ】セルフ、センター
【た】タイプ、タイマー、ダイヤ、タオル、タクシー、ダンス、ダンボール
【て】Tシャツ、デザイン、デパート、テレビ、電子レンジ
【と】トイレ、トイレトペーパー、トレイ
【ね】ネット、ネットワーク
【の】ノート、ノズル
【は】パーティー、パート、バイク、バス、パスポート、パソコン、パック、パン、パンツ
【ひ】ビール、ピザ、ピデ
【ふ】ファックス、ブル、ブッシュ、フライパン、プラスチック、フリーダイヤル、プリント、フルーツ、ブロック(塊)
【へ】ベット、ペットボトル、ヘルシー、ベンキ
【ほ】ポイントカード、防犯カメラ、ホーム、ホームページ、ボール、ボタン、ポット、ボランティア
【ま】マニュアル、マンション
【め】メール、メニュー、メリット
【ら】ランプ
【り】リース(賃貸)、リサイクル、リハビリテーション
【る】ルール
【れ】レジ、レシート、レストラン、レンジ、レントゲン
【ろ】ロース、ローン、ロック(鍵)

表6 選定したカタカナ語の難易度

旧日本語能力試験の相当級	語数	割合(%)
4級	18	13.95
3級	9	6.98
2級	28	21.71
1級	14	10.85
級外	60	46.51
計	129	100.00



## 5-2-2 使用頻度

次に、選定したカタカナ語129語が、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』（BCCWJ）に何回出現するかを調査した。高頻度順に語を並べたところ、結果は表7のとおりであった。

表7 選定したカタカナ語のBCCWJコーパスにおける出現回数

順位	カタカナ語	難易度	出現回数	順位	カタカナ語	難易度	出現回数
1	センター	2級	20298	66	アルバイト	3級	1570
2	サービス	2級	16318	67	レンジ	1級	1570
3	テレビ	4級	15620	68	パーティー	4級	1540
4	メール	2級	15038	69	コンビニ	級外	1539
5	ホーム	2級	10562	70	シャワー	4級	1477
6	タイプ	3級	9269	71	アレルギー	級外	1410
7	バス	4級	9044	72	スケジュール	2級	1402
8	パソコン	3級	8844	73	マニュアル	級外	1351
9	スポーツ	4級	8843	74	プラスチック	2級	1316
10	カード	2級	8415	75	クリニック	級外	1282
11	アップ	1級	7874	76	フライパン	2級	1229
12	ボール	2級	7252	77	デパート	4級	1207
13	デザイン	1級	7079	78	リース(賃貸)	級外	1201
14	ガス	3級	6354	79	ランプ	1級	1197
15	インターネット	級外	6268	80	Tシャツ	級外	1181
16	コース	2級	6099	81	フルーツ	級外	1105
17	パン	4級	6087	82	カラオケ	級外	1065
18	サイズ	1級	6020	83	エコ	級外	1049
19	ネット	級外	5854	84	オープン	級外	954
20	ボタン	4級	5804	85	レジ	3級	936
21	メニュー	2級	5239	86	パスポート	2級	863
22	ネットワーク	級外	5148	87	シャンプー	級外	819
23	スタート	2級	5027	88	カレンダー	4級	772
24	キー	級外	4850	89	アルミ	1級	731
25	コーヒー	4級	4547	90	ダイヤ	2級	694
26	イベント	級外	4503	91	ポット	1級	694
27	マンション	2級	4293	92	ピザ	級外	663
28	スーパー	3級	4214	93	ジャム	3級	636
29	ビール	2級	4212	94	電子レンジ	級外	628
30	シート(座席)	1級	4120	95	サンドイッチ	3級	550
31	トイレ	4級	4104	96	ペットボトル	級外	526
32	ストレス	1級	4041	97	クレジットカード	級外	510
33	ボランティア	級外	3872	98	リハビリテーション	級外	504
34	ルール	1級	3853	99	スピーチ	2級	474
35	コーナー	1級	3590	100	レントゲン	1級	466

36	アドバイス	級外	3351
37	レストラン	4級	3100
38	サッカー	級外	3056
39	カレー	4級	3053
40	コード(ひも)	2級	2968
41	タクシー	4級	2893
42	ホームページ	級外	2861
43	ノート	4級	2841
44	バイク	級外	2757
45	アパート	4級	2571
46	ローン	級外	2557
47	シーズン	2級	2547
48	ペット	4級	2446
49	パック	級外	2433
50	タオル	2級	2413
51	パンツ	2級	2394
52	ダンス	2級	2390
53	サイン	2級	2381
54	ステージ	2級	2360
55	ブロック(塊)	級外	2204
56	メリット	級外	2152
57	プール	4級	2066
58	パート	3級	2060
59	アニメ	級外	2024
60	カウンター	級外	2020
61	リサイクル	級外	2003
62	オリンピック	2級	1719
63	アイス	級外	1710
64	ジュース	2級	1632
65	プリント	2級	1578

101	ファックス	級外	443
102	セルフ	級外	415
103	タイマー	1級	415
104	ロック(鍵)	級外	414
105	アトピー	級外	399
106	ペンキ	2級	392
107	カプセル	級外	391
108	アナウンス	級外	372
109	シロップ	級外	364
110	ヘルシー	級外	347
111	プッシュ	級外	327
112	グリル	級外	313
113	トレイ	級外	304
114	ロース	級外	285
115	ダンボール	級外	271
116	コンビニエンスストア	級外	177
117	レシート	級外	161
118	キャッシュカード	級外	155
119	スロープ	級外	155
120	トイレットペーパー	級外	153
121	ゴールデンウィーク	級外	138
122	ノズル	級外	128
123	ガイダンス	級外	122
124	スチーム	1級	106
125	グリーン車	級外	97
126	防犯カメラ	級外	75
127	フリーダイヤル	級外	74
128	ポイントカード	級外	49
129	ビデ	級外	42

表7をみると、「センター」、「サービス」、「テレビ」、「メール」、「ホーム」等の語は、コーパス出現回数が多く、日常生活で接触しやすいことがわかる。同時に、コーパス出現回数の多い語には、旧日本語能力試験2級、1級、級外の難易度の高い語も含まれていることがわかる。しかし、外国人生活者は日本語能力が高い人ばかりではない。また、地域日本語教室では、主に初級の日本語教科書が使用されている。そのため、地域日本語教室等で日本語を学習している外国人生活者には、日本語教科書のカタカナ語に加えて、生活に必要なこれらのカタカナ語を教える必要があると考えられる。また、もし129語という語数の多さが学習者にとって負担になるようであれば、表7の順位が高いものから教える方法も考えられる。

ただし、BCCWJコーパスは、1976年から2005年の間に書かれた新聞や書籍等を対象に作成されているため、それ以降に誕生したカタカナ語は含まれていない。また、カタカナ語は新陳代謝が激



しいため、現在の社会での使用頻度は表7とは違ったものになる可能性がある。

## 6. まとめと今後の課題

本研究では、まず、地域日本語教室等で使用されている日本語教科書4冊のカタカナ語を分析した。その結果、名詞が圧倒的に多く、日常生活で使われる機会の多いサ変動詞、ナ形容詞がほとんど扱われていないことがわかった。また、全ての教科書に出現するカタカナ語は35語しかなく、これだけでは生活に必要なカタカナ語を網羅していないことが明らかになった。そのため、外国人生活者が生活の中で目にする物の画像等が掲載されている漢字教科書4冊からカタカナ語をさらに抽出し、生活に必要なカタカナ語129語を選定した。

次に、本研究で選定したカタカナ語の難易度を分析したところ、79.07%の語が、旧日本語能力試験2級、1級、級外に相当する難易度の高い語であることがわかった。また、級外の語が46.51%を占めていることから、日本語能力試験のための学習だけでは、生活に必要なカタカナ語の約半数の語しか習得できない可能性があることが明らかになった。さらに、それらのカタカナ語の『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)における出現頻度を調査したところ、上位に出現する語にも、旧日本語能力試験2級、1級、級外の難易度の高い語が含まれていることがわかった。カタカナ語の社会における使用頻度と語の易しさは必ずしも一致していない。しかし、難易度の高いカタカナ語は、初級の日本語学習者を対象としている教室等では扱われていない可能性がある。そのため、これらの生活に必要なカタカナ語は、語の難易度にかかわらず、外国人生活者に対して地域日本語教室等で教える必要があると考えられる。

今後は、地域日本語教室等における学習支援に利用できるよう、生活に必要なカタカナ語の教材の開発を行いたい。なお、本研究で分析対象とした教科書は全て2015年以前に刊行されたものであるため、「アプリ」、「スマートフォン」、「マイナンバー」等、現代社会に不可欠なカタカナ語が全て含まれているとはいえない。カタカナ語は代謝が激しいため、生活に必要なカタカナ語の教材を、社会に合わせて常に最新のものに更新していくことには限界がある。そのため、地域日本語教室等でも、社会で新しく使用されるようになったカタカナ語の学習に対応する工夫を考える必要がある。また、地域での生活に必要な固有名詞等のカタカナ語(香川県の場合、「アイバル香川(香川県国際交流会館の愛称)」、「イルカ(交通系ICカードの名称)」等)についても、各地の地域日本語教室等において必要な語を選び、学習者に対応していく必要があるといえる。

## 謝辞

本研究は、JSPS科研費JP17K02852の助成を受けたものです。

## 参考文献

- 稲垣滋子(1991)「初級日本語教科書の外来語」『ICU日本語教育研究センター紀要』1, 144-154.
- 今西利之(2008)「いわゆる『生活の手引き』の語彙についての覚え書き—フォリナー・ライティング研究の視点から」『熊本大学留学生センター紀要』12, 1-15.
- 今西利之(2010)「いわゆる『生活の手引き』の語彙についての覚え書き(その2)」『熊本大学国際化推進センター紀要』1, 1-11.
- 押尾和美・秋元美晴・武田明子・阿部洋子・高梨美穂・柳澤好昭・岩元隆一・石毛順子(2008)「新しい日本語能力試験のための語彙表作成にむけて」『国際交流基金日本語教育紀要』4, 71-86.
- 金愛蘭(2012)「外来語の基本語化」、陣内正敬・相澤正夫・田中牧郎編『外来語研究の新展開』おうふう、29-45.

工藤陽子 (2001) 「日本語教科書の外来語—同志社大学留学生別科で使用した教科書を例として」『同志社大学留学生別科紀要』1, 47-61.

国際交流基金・日本国際教育支援協会編 (2002) 『日本語能力試験出題基準改訂版』凡人社.

西崎紗彩・平田史織・山下直子 (2019) 「大学のシラバスにみるカタカナ語—全学共通教育の主題科目と学問基礎科目の分析から—」『香川大学教育学部研究報告第Ⅰ部』151, 57-68.

平田史織 (2019) 『外国人生活者の漢字学習活動について』, 修士学位論文, 香川大学大学院教育学研究科学校教育専攻教育支援コース日本語教育分野.

## 参考URL

現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ) < [https://pj.ninjal.ac.jp/corpus\\_center/bccwj/](https://pj.ninjal.ac.jp/corpus_center/bccwj/) >, 2019年11月22日閲覧.

弘前大学人文学部社会言語学研究室 (2017) 「カタカナ外来語・アルファベット単位記号・アルファベット略称についての調査結果」

< <http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/katakanagonobunseki.html> >, 2019年11月22日閲覧.

文化庁文化審議会国語分科会 (2010) 『「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案について』文化庁. < [http://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo\\_nihongo/kyoiku/nihongo\\_curriculum/pdf/curriculum\\_ver09.pdf](http://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/nihongo_curriculum/pdf/curriculum_ver09.pdf) >, 2019年11月22日閲覧.

法務省 (2019) 「令和元年6月末現在における在留外国人数について (速報値)」

< [http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri04\\_00083.html](http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri04_00083.html) >, 2019年11月22日閲覧.

## 教科書

アジアの女たちの会・立ち寄りサポートセンター「町屋日本語教室」(1997) 『生活漢字306英語・タガログ語版 第2版』凡人社.

石井真未枝・鈴木庸子・野村登美子 (2015) 『生活カタカナ』実用日本語教育推進協会.

< [http://www.nihongo-ews.jp/contents\\_files/download/?cfid=403&content\\_id=861](http://www.nihongo-ews.jp/contents_files/download/?cfid=403&content_id=861) >, 2019年11月22日閲覧.

国際ボランティアセンター山形 (2001) 『ハングルを使う人のための生活漢字』国際ボランティアセンター山形.

澤田幸子・武田みゆき・福家枝里・三輪香織 (2011) 『日本語おしゃべりのたね第2版』西口光一監修, スリーエーネットワーク.

澤田幸子・武田みゆき・福家枝里・三輪香織 (2015) 『日本語読み書きのたね』スリーエーネットワーク.

清水知子・大場理恵子・棚橋明美・渡邊亜子 (2018) 『日本語能力試験問題集N3カタカナ語スピードマスター』Jリサーチ出版.

スリーエーネットワーク (2012) 『みんなの日本語初級Ⅰ第2版本冊』鶴尾能子・石沢弘子監修, スリーエーネットワーク.

スリーエーネットワーク (2013) 『みんなの日本語初級Ⅱ第2版本冊』鶴尾能子・石沢弘子監修, スリーエーネットワーク.

「生活の漢字」をかながえる会 (2011) 『新にほんご「生活の漢字」漢字み～つけた』アルク.

トヤマ・ヤポニカ (2013) 『漢字だいじょうぶ! 生活の中で学ぶ漢字のツボ』中河和子・高島智美編, ココ出版.